

● 広報

おくび



2011

3

NO.677



すこやか
小国っ子
シリーズ②①

～ 初めてのジャンプ ～

ウインタースポーツ大会のオープン参加種目として行われる「ジャンプ競技」。

小国町スキークラブ主催の練習会に参加した子どもたちは、「初めてだったけど、だんだん上手くできるようになって楽しい」と、目を輝かせながら何度も挑戦していました。

豊かな森を未来へ引き継ぐために



小国町の面積の約94%は、森林です。

その多くは天然の広葉樹の森で、四季折々に美しい景観をみせるとともに、山菜やキノコなど多くの恵みを育み、さらには、自然災害の防止に役立つなど様々な機能があります。しかし近年は、様々な要因で、森林の荒廃が進んできています。

町では、本年度、森を維持保全し、後世に引き継いでいくため、国や県、各学校と連携して、新規事業を展開してきました。

今月はその概要を紹介します。

小国の豊かな森

小国町には、飯豊・朝日の両連峰に温存されているブナの森をはじめ、町全体に豊かな森が広がっています。森林面積は、町の面積の約九四%を占め、その多くは、天然の広葉樹の森です。

森は、ゼンマイやワラビなどの山菜、キノコ類、溪流に住むイワナなど、山の幸、川の幸を育み、この豊かな恵みのなかで、たくさんの動物たちが生息しています。

小国に暮らす人々は、この豊かな恵みを分け与えてくれる森の中で、狩猟採集の生活を営み、食糧をはじめ生活に必要なものの多くを調達してきました。四季の移り変わりに歩調をあわせ、森とともに生きる生活の知恵が、生活技術として家庭や集落で受け継がれ、多様な食文化を育んできました。また、こうした生活を継続していくため、里山の管理に努め、自然とのかかわりを維持してきました。

町としても、豊かなブナの



森の恵み、ぜんまい揉みの風景

森と人とのかわりによって育まれてきた文化「ぶな文化」を大切にして、まちづくりを進めてきました。

春の新緑、秋の紅葉など、四季折々の美しい景観をみせる豊かな森。こうした景観を一目見ようと、町内外から多くのかたがたが訪れています。また、森と人とのかわりによって、受け継がれてきた狩猟文化などを生かした「熊まつり」や「雪の学校」など、これまで整備してきた交流基盤を中心として、地域のかたがたによるイベントが展開されています。加えて、森林セ

ラピー基地温身平を中心として、森林の癒し効果を体験できるプログラムが展開され、雄大な自然に癒しを求めて多くのかたが訪れるようになってきています。

山菜やキノコなど、森から育まれる生産物の振興を図ってきたことにより、小国町で生産される山菜は、山形県全体の生産量の約二割を占めています。

森林を活用した循環型社会形成に資する取り組みとして、間伐材などをチップ状に加工し、重油に変わる燃料として活用し、融雪などを行う温水供給施設を整備しています。これにより、林業をはじめとした産業の活性化を図っています。

小国町の豊かな森林は、町民にとっても、町外から訪れるかたにとっても、とても大切なものになっています。

森林の公益的な機能

森林には、雨や雪解け水を地中に浸透させ蓄えることで、渇水や洪水を防ぐ機能があり



平成17年に初めて被害が確認されたナラ枯れ

ます。さらに、木々の根が地中深くに伸び、しっかりと土壌を固定することで、土砂の流出や山崩れなどによる災害の防止に役立っています。また、光合成により二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、地球温暖化の防止に寄与しているほか、再生産可能な資源である木材を供給し、循環型社会の構築にも役立っています。さらに、私たちに癒しの場や野外教育の場を提供しています。

こうした多面的な機能を持つ森林は、私たち町民だけでなく、地球環境においても大

切な役割を果たしています。

森林の現状

森林の現状は、様々な要因により昔とは変わってきています。昨今の木材需要の低迷や林業就業者の減少、高齢化などにより、手入れの行き届かない森林が増えてきています。また、林業に関することだけでなく、そこに暮らす人々が里山を管理し、互いに共生してきた暮らしが時代とともに変化し、人と森とのかわりが薄れてきている現状にあります。それとともに、町内では鳥獣被害が拡大してきており、農作物が被害を受けることで、農家の耕作意欲の減衰が危惧されています。

また、近年は、ナラ枯れ被害が大きくなってきており、深刻な状況に陥っています。これまで国や県と連携、協力しながら対策に取り組んできましたが、進行する被害を軽減するには至っていません。

さらに、今年度新たに、ウエツキブナハムシによるブナの葉の食害が確認されていま

白い森づくり体験事業

～間伐の必要性を学び、実際に体験～

白沼小中学校では、これまで実施してきた学校林の整備に加え、置賜森林管理署、小国町森林組合の協力を得て、間伐作業の見学や枝落とし作業の体験を行いました。

また、小国小学校4年生とその保護者を対象に、間伐の必要性を学ぶとともに、実際に間伐作業を見学する間伐教室を実施しました。



ナラ枯れ跡地再生事業

～ナラ枯れ被害地に幼令木を植栽～



被害が急速に拡大しているナラ枯れ。被害を受けた町有林の被害木を伐採した跡地に、国、県の協力を得て、町民と新潟大学の学生とが協働し、広葉樹の幼令木（600本）を植栽しました。

す。八月から九月に被害のピークを迎え、景観に影響を及ぼしています。

森づくりの新たな取り組み

森林を取り巻く現状を踏まえ、これまでの取り組みに加えて、改めて森林の持つ機能や、森林を活用した仕事の魅力などを知り、生活と森林とのかかわりの大切さについて意識を高めていくことが必要になってきています。

町では、平成二十二年度、健全な森を育み、森と関わる生活文化などを体験的に学ぶ機会を提供するため、山形県みどり環境交付金を活用して、「ナラ枯れ跡地再生事業」、「白い森づくり体験事業」、「森から拓く次代の生業づくり事業」、「環の暮らし推進事業」の四つの新規事業に取り組んでいます。

ナラ枯れ跡地再生事業

ナラ枯れ被害により伐採した跡地に、広葉樹の幼令木を植える「ナラ枯れ跡地再生事業」



間伐の説明を聞く児童と保護者

業」。これまで町では、ナラ枯れ対策として、国、県と連携し、被害木への薬剤注入や合成フェロモンを用いた病害虫の駆除に継続的に取り組んできています。この事業は、こうした取り組みに加えて、被害地に付近の森で芽生えた三〇cm程度の幼令木を植えることで、本来の森林環境と同様に、山菜やキノコが採れ、多様な生き物たちが生息できる豊かな森林に再生するものです。ここでは、行政機関だけではなく、地域のかたや、研究に訪れる大学生など町外のかたがたと一緒になった協働の取り組みが展開されています。

環の暮らし推進事業 ～森林環境教育のリーダーを養成～

森林環境教育リーダー養成講座として、年4回の講座を開催し、人材の養成を図りました。山形県森林インストラクター会に講師を依頼し、森林の植物や、人と森の関わり、活動の安全確保などについて理解を深めました。



森から拓く次代の生業づくり事業 ～町内の実践者から森の仕事を聞く～



町内全ての中学校を会場として、町内の豊かな森林を舞台に、森林作業や炭焼き、きのこ栽培などの分野で活躍されているUターン・Iターン者のかたからお話しを聞く機会を設定しました。

ます。

白い森づくり体験事業、 森から拓く次代の 生業づくり事業

白い森づくり体験事業と森から拓く次代の生業づくり事業は、各学校と連携して実施しています。実際に間伐の現場に出向き、森の健全性を維持するために必要な作業であることへの理解を深める機会になっています。森と関わる仕事に携わっている実践者との語り合いなどを通じて、本町の自然や、仕事の魅力を知り、森の魅力を伝える場にもなっています。参加した子どもたちからは、「炭の焼き方や狩猟、林業のことがよく分かった」、「小国の文化や自然を守っていかねばならない」と思ったり、「林業をされている方のおかげできれいな森林が保たれていることが分かった」との声が寄せられています。

環の暮らし推進事業

環の暮らし推進事業は、森

林環境を保全するため、子どもたちや地域などを対象に、森林の機能や大切さを体験的に指導できる人材を養成するものです。こうした人材の育成は、森林環境の大切さを広めるとともに、本町の自然をフィールドとした交流会の創出にもつながるものと期待されます。参加者からは「身近にたくさん森があるが、講座に参加して、改めてその役割や大切さを実感することができた」との声が聞かれました。

町では、豊かな森を未来へ引き継いでいくため、次代を担う子どもたちに、森と人とかかわる仕事や活動を広く紹介し森林保護や林業に対する関心を高めていきます。また、国や県と連携した取り組みを推進することに加えて、町民はもとより、都市住民や大学等教育機関との交流、連携、協働の拡大を図り、森林と人とかかわりづくりに取り組んでいきます。

光ファイバ網が完成

三月十日にサービス提供開始

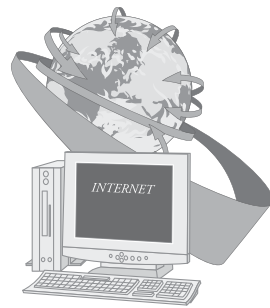
国からの補助を受けて整備を進めてきた光ファイバの敷設が二月十八日をもって完了しました。

整備範囲は、ほぼ町内全域にわたり、総延長一五一・九三km、総事業費は三億五千八百六十三万八千円の事業となりました。このことにより、大容量の情報を取り込む際の通信速度が上がるなど、町民の皆様がより快適にインターネットを利用できる環境が整いました。

サービスの利用にあたっては、

- ① 光ファイバ利用（フレッツ光ネクスト）の申込み
- ② インターネット接続の申込み

この二つの申し込みが必要となります。①②ともに、申し込みについては、NTT東日本のほか、インターネット接



続業者（プロバイダ）で受付しています。

利用開始時には、初期工事費がかかり、その後、毎月の利用料金が発生します。

なお、既にインターネットをご利用のかたは、そのプロバイダを通して、光インターネットサービスをご利用いただける場合もあります。

また、今年度整備を行った九箇所の携帯電話基地局についても、光ファイバのサービス開始に伴い、三月中に供用開始する見込みとなっています。

臨時議会

平成二十三年第二回小国町議会臨時会が、二月八日に開会されました。一般会計補正が審議され、原案のとおり可決されました。

除雪関連経費に

一億二千三百七十六万円を追加

記録的な豪雪に見舞われたことにより、不足が見込まれる道路及び公共施設、教育施設や児童福祉施設等の除排雪経費を追加しました。また、単身高齢者等の除雪を支援する「高齢者等暮らし応援事業」について、豪雪に伴い利用回数が増大していることから、一世帯あたりの限度額を三万六千円から七万二千円に引き上げることとしました。

この結果、補正額は一億一千三百七十六万円となり、補正後の予算総額は五十九億一千五百万円となりました。

「雪崩や落雪、除雪作業に」

ご注意ください

豪雪に見舞われた今年の冬。二月二十一日現在、町内で確認された雪による被害は、人的被害四件（死亡二件、外傷二件）、住家被害十件、非住家被害十八件となっています。

三月に入り気温が上昇し、これまで積もった雪が緩み、雪崩や落雪の危険性が増してきます。山の稜線付近に付着した雪庇（せつび）の崩落や、斜面に雪割れが生じているなどの雪崩の前兆現象を見つけた場合は、斜面等には決して近づかないで、町豪雪対策本部（町民課）に連絡してください。また、引き続き、除雪中の事故や、落雪による石油ホームタンクの破損（油漏れ）にもご注意ください。

小中高一貫教育の

さらなる推進

文部科学省の「教育課程特例校」に指定

町内の全ての小中学校は、文部科学省の教育課程特例校の指定を受け、「国際・情報科」の新設が認定されました。

文部科学省では、学習指導要領により各教科の内容や目標などを定めていますが、教育課程特例校は、学習指導要領によらず、学校や地域の特徴に応じた教育課程を編成で

きる制度です。

町では、平成十三年度から平成十八年度までの六年間、文部科学省より研究開発学校としての指定を受けて、小中高一貫教育の実践に取り組みできました。平成十九年度以降も、引き続き、町独自の取り組みを進め、その一つの柱として、英語を使ってコミュニケーションができるようにすることや、コンピュータを使用して情報の収集や発信をできるようにすることなどを目指す「国際・情報」教育を実践してきました。

これまでは「総合的な学習の時間」の中で「国際・情報」教育を進めてきましたが、このたびの教育課程特例校の指定により、平成二十三年四月から小中学校の全学年を対象として、「国際・情報科」と



いう新設科目としての取り組みが始まることとなります。

特例校の指定を受け、今正逸教育長は、「これまで積み上げてきた小中高一貫教育の成果が認められたものだと思います。小中高一貫教育が目指す「地域においてしっかりと自分たちの立つべき足場を持ちながら、国際社会で主体的に生きていく人間」の育成に向けて、児童生徒の英語力やコンピュータ活用能力、情報活用能力のさらなる充実につなげていきたいと考えています」と話していました。

地域学習の成果を発表 白い森学習ポスター展

小中高一貫教育の取り組みとして進めている白い森学習の成果を披露する「白い森学習ポスター展」が、一月二十八日から二月十日まで、アスモで開催されました。

会場には、地域の伝統行事や郷土料理、自然などを題材とした各校の学習成果が、児童生徒手作りのポスターとして展示されていました。訪れたかたは、感心した様子で見入っていました。



西置賜地区の高校再編説明会

西置賜地区の県立高校の再編整備計画に係る地域説明会が、二月二日、総合センターで開催されました。

県教育庁では、西置賜地区の中学卒業生数が平成十六年の七百五十六人に対し、平成二十六年には五百五十六人になり、平成十六年と比較して二百人減少するとして、教育の適正規模を確保するためには、時代の進展に対応する高校整備の必要があるとしています。



今回の地域説明会では、平成二十二年十二月にまとめた「西置賜地区の高校再編整備計画の骨子」が説明されました。内容は、①長井工業高校を一学級減らして三学級とし、荒砥高校を総合学科にして、両校でキャンパス制を導入する、②長井高校は単位制を導入する、③小国高校は通学の利便性等の事業から単独校とする、④置賜農業飯豊分校は本校に統合する、というもので、平成二十五年度（現在の中学一年生進学时）から実施することとしています。

通学の利便性等の事情を配慮し、単独校として維持される小国高校。整備方針については、連携型中高一貫教育校として、コミュニケーション能力と情報活用能力の育成や、地域行事への参加など、特色ある活動の展開を通して地域づくりに貢献できる生徒を育成していくこととしています。

地産地消推進協議会

食育教室

小国町地産地消推進協議会（会長・小野精一 小国町長）では、町内の保育園を会場に、幼児と保護者を対象とした食育教室を開催しています。

二月五日、白百合保育園で行われた食育教室では、園児と保護者六十五人が参加し、講演と料理体験を通じて、地域の農産物に関する理解を深めました。

この日の講師は、地域で農業を営む傍ら、食育活動も実践している山口ひとみさん



「食の基本について」と題して行われた講演



小国産の米と雑穀で「おにぎりづくり」

（大石沢）が「食の基本について」と題して講演を行い、「地域で採れたものを季節で楽しむ食生活をしてほしい」と話していました。

また、町内産の米と雑穀（もちきび）を使った「おにぎりづくり」も行われ、参加した保護者からは、「日々の食料や、地域の食材について考える良い機会となった」との声が聞かれました。

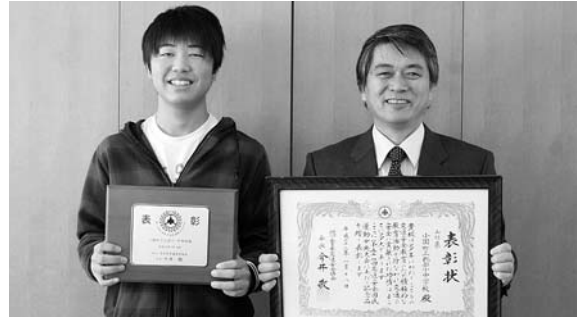
同協議会では、食育教室のほか、講演会や収穫体験などを実施し、食・農への関心を高め、地元農林産物の流通、消費の拡大を目指しています。

北部小中学校 交通安全優良校に

北部小中学校（鈴木正人校長）が、地域と協力して交通安全に取り組んできた実績が評価され、第51回交通安全国民運動中央大会で「交通安全優良校」に選ばれました。

北部小中学校では、交通安全教室を春と夏の2回開催しており、小国警察署や町交通安全協会などの指導に加え、地域のおじいちゃん、おばあちゃんに組織された「まご支援隊」や保護者の積極的な協力のもと、子どもたちの交通安全意識の向上に取り組んでいます。

鈴木校長は、「今回の受賞は、関係機関や地域みなさんの協力のおかげだと思います。学校前の県道は、車の往来が多い道路。これからも自他の安全を守る教育として、交通安全意識の向上に努めていきたい」と話してくれました。



児童会運営委員長の安部拓海君と鈴木正人校長



関係機関や地域の協力を得て行ってきた交通安全教室

町教育委員会主催のウィンタースポーツ教室が、一月二十二日から二月十九日までの期間に計四回行われました。教室には、アルペンスキーとスノーボードの技術向上を目指して、町内の小学生五十六人が参加しました。

ウィンタースポーツ教室



旧玉川小中学校 「活用検討委員会報告会」

旧玉川小中学校活用検討結果報告会が、二月十九日、同校で開催されました。

同校の閉校後の活用については、平成二十一年十月に地域のかたがたによる検討委員会（代表・井上秀雄玉川地域振興協議会長）が設置され、検討を進めてきました。

報告会では、これまでの検討結果を踏まえ、来年度においては、学校を活用して、季節に応じた五つの交流体験事業を展開していくことなどが報告されました。



2/12

小国産大豆「秘伝豆」でみそづくり

～みそづくり体験～



アドバイスを受けながら作業を進める参加者

みそづくり体験が、2月12日、宮の森会館で行われ、町内外から18人が参加しました。

これは、昨年5月、宇宙に運ばれたものと同じ種類の大豆「秘伝豆」を使ったみそづくりを通して、町をPRしようと、小国町商工会が主催したものです。

講師には、宮坂醸造株式会社執行役員でみそソムリエの杉浦孝則さん（東京都）が招かれ、みそができるまでの過程と、作り方などを説明しました。

参加者は、豆をつぶしてこうじと塩を加え、容器に保管。「自分が作ったみそがどんな味になるのか楽しみ」と話していました。

2/13

案内技術を高めるために～森林セラピー案内人研修会～

森林セラピー案内人研修会が、2月13日、総合センターで開催されました。

この研修会は、小中学生に対する案内技術の向上を図るために開いたもので、「学校教育としての案内」と題して、特定非営利活動法人エコプロ副理事長真鍋雅彦氏による講演が行われました。

講演で真鍋氏は、山形県立自然博物館を舞台に取り組んでいる体験プログラムの内容や、小中高生の各年代別における指導のポイントなどを紹介。参加者は熱心に聞き入っていました。



児童生徒の案内のポイントなどを話す真鍋氏

2/15

交通事故のない社会を願って～合同研修会～



交通事故の悲惨さを改めて認識した研修会

小国地区安全運転管理事業主会と小国地区安全運転管理者協議会の合同研修会が、2月15日、アスモで開催され、全国交通事故遺族の会会員の穴戸義明氏が「被害者遺族の願い」と題して講演を行いました。

講演で穴戸氏は、平成4年に交通事故で息子を亡くした当時を振り返り、「被害者本人や遺族の悲しさを理解してほしい」と、交通事故遺族の切実な思いを語りました。

町内の事業主など約30人が参加し、聞き入っていました。

2/5

「大切なのは人づくり」舟山監督が講演

～スポーツ講演会～



町内外から大勢が参加した講演会



大学生がソフトボールの実技指導

第43回西置賜地区スポーツ振興懇談会兼平成22年度小国町スポーツ講演会が、2月5日、総合センターで開催され、町内外からスポーツ関係者など153人が参加しました。

これは、西置賜1市3町の体育協会が、西置賜地区のスポーツ振興と青少年の健全育成を目的に開催しているもので、東北福祉大学女子ソフトボール部監督の舟山健一氏（仙台市・小国町若山出身）が、「夢を持つこと 可能性を信じること」と題して講演を行いました。

同大学女子ソフトボール部は、現役の日本代表選手を輩出している強豪チームとして知られ、全日本選手権において過去3度、全国制覇を成し遂げています。

講演で舟山氏は、「技術面の向上だけでなく、一番大切なことは人間を育てること」と、スポーツ指導者としての人づくりの考え方などを語りました。参加者は、メモを取りながら、熱心に聴講していました。

また、同大学女子ソフトボール部員4人も来町し、ふれあいの家を会場に、スポーツ少年団員を対象にした実技指導や、ピッチングのデモンストレーションも行われました。

この人に聞く

東北福祉大学女子ソフトボール部

監督 舟山健一さん

（仙台市在住・若山出身）



東北福祉大学女子ソフトボール部監督の舟山健一さんにお話を伺いました。

「平成十四年に女子ソフトボール部が創部されて以来、監督をしています。

指導にあたっては、競技面だけでなく、生き方や生活態度など「人間力」を高めることが重要です。自分から競技をとったら何が残るか：生活態度がしっかりしていれば、社会に出てから必ず役に立ちます。

夢を持たないと言う学生に共通しているのは自信の無さ。自分にとって価値のある目標を設定し、それに向けて、できることを積み重ね、継続していく。これが自信となり、心を強くします。

今は小国を離れて生活していますが、小国町のスポーツ界の発展と、そしてスポーツを通じた人づくりを、心から応援しています。」と話してくれました。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

■小坂町勤労者住宅

2K 2戸

▽家賃 三万三千円

■岩井沢勤労者住宅

3DK 2戸

▽家賃 四万二千円

▽対象 小坂町・岩井沢ともに、町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 3月9日(水)

■入居時期 3月下旬以降

■問合先

地域整備課建設管理室へ

自衛官募集

■募集種目

①一般幹部候補生②一般曹候補生③予備自衛官補

■応募資格

①は20歳～26歳未満、②は、18歳～27歳未満、③一般公募は18歳～34歳未満、技能公募は18歳～55歳未満

■受付期限 ①②は5月6日(金)、③は4月6日(水)まで

■問合先 自衛隊米沢地域事

務所(☎0238-23-0011)へ

平成二十四年歌会始詠進歌募集

■お題「岸」

■詠進要領

書式図(横長)

・お題を詠み込んだ自作短歌で未発表のもの。

・一人一首とします。

・用紙は、半紙を横長に使用し毛筆で直筆してください。

■受付期限 9月30日(金)

■郵送先 〒100-8111 宮内庁

■問合先 宮内庁式部職あてに、返信用切手を貼った封筒を添えて問合してください。

お題「岸」	住所 (山折り)
、、、、、	電話番号
、、、、、	ふりがな
、、、、、	氏名
、、、、、	生年月日
、、、、、	職業

研究室

115㎡ 2室

(二十一万七千七百円/月)

50㎡ 4室

(九万四千七百円/月)

※詳細はお問合ください。

■申込・問合先 山形県商工観光部工業振興課 戦略技術担当(☎023-630-12696)へ

催し

金太郎師匠とうさぎなべ

■日時 3月6日(日) 午後1時30分から

■場所 水源の郷交流館

■内容 山遊亭金太郎師匠の寄席や、コースサークルの発表のほか、うさぎ鍋を囲んでの交流会を行います。

■問合先 東部地区振興協議会 渡部孝一(☎65-2208)へ

ご案内

小国町議会議員選挙立候補予定者及び出納責任者説明会

平成23年4月24日執行予定

の小国町議会議員選挙における説明会を行います。立候補を予定されているかたや出納責任者となるかた又はその代理のかたは、出席してください。

■日時 3月22日(火) 午後2時

■場所 役場4階 大会議室

■問合先 小国町選挙管理委員会事務局(総務企画課行政管理室内)へ

米トレーサビリティ制度説明会

■日時 3月22日(火) 午後2時30分～午後3時30分

■会場 置賜総合支庁講堂

■内容 昨年10月に施行された「米トレーサビリティ法」において、本年7月から産地情報の伝達が義務付けられることについて

■対象 米飯を提供する外食業者及び消費者

■申込期限 3月15日(火)

■申込・問合先 東北農政局 山形農政事務所地域第三課(☎0238-43-4210、FAX0238-43-2736)へ

次回の町長と語る日は4月以降を予定しています。

皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiromori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238(62)2611

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇稲穂の海 熊谷 達也
- ◇第二音楽室 佐藤多佳子
- ◇一生懸命 木村由美子
- ◇小惑星探査機はやぶさの大冒険 山根 一真
- ◇池上彰の新聞活用術 池上 彰
- ◇100歳の少年と12通の手紙
エリック＝エマニュエル・シュミット
- ◇小学館あーとぶっく 全16巻
- ◇図説科学の百科事典
- ◇おいしく食べる玄米と雑穀
- ◇イザベラ・バードよりみち道中記 伊藤 孝博

●休館日…毎週月曜日、祝日

子育て支援 センターから

☆あそびの広場☆

日程 3月1日、8日「子
育て講座・子どもの病気を
知ろう」、15日、22日

時間

午前10時～11時30分

場所

健康管理センター

対象者

0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

日程と場所

▼3月3日、17日
総合センター

▼3月10日、24日
おぐに保育園

時間

午前10時～11時30分

対象者

0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

日時

午前9時30分～正午 4月16日(土)

場所

健康管理センター

内容

簡単お菓子づくりとバルーンアート

申込期限

4月14日(木)

問合先

子育て支援センターへ

求 人 情 報

左の表は、2月24日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へお問い合わせください。

今月の納税 2011.3

3月の税金等の口座振替は、次の日になります。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●3月28日(月) 水道料

●3月31日(木) 国保税(9期)、後期高齢者保険料(9期)、介護保険料、下水道料・簡易下水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先 税務課税政管理室へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(株)井上製作所	【急募】(請)製造工	1人	8:30～16:40 0:30～8:40 16:30～0:40
社会福祉法人 小国福祉会	看護師(常勤正規職員)	1人	8:30～17:30 10:30～19:30 9:15～18:15
	介護員	1人	7:30～16:30 9:15～18:15 10:30～19:30
アクサ生命保険(株)長井営業所	【急募】商工会議所・商工会共済制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15～17:00
大幸TEC(株)	医薬品原料製造作業者	2人	8:00～17:30
(株)キューアドリーム	【急募】介護職員	2人	6:00～15:00 10:00～19:00 19:00～7:00
(株)ケイプロダクツ	ショッピングサイト管理	1人	9:00～18:00
NPO法人 まんまる	支援員・事務員	1人	8:30～17:00
電 興 (株)	ガソリンスタンド	1人	7:00～16:00 8:30～17:00 10:30～19:00
(有)蔵王ストアー	レジ係(販売員)	1人	8:45～18:00
小国開発(株)	現場監督補助	1人	8:00～17:00
(有)白い森よこね物産品直売所	販売・接客	1人	9:00～18:00
(株)コメリ 新潟地区本部	販売員(コメリハードアンドグリーン小国店) アルバイト	4人	17:00～20:00又は 9:00～13:00の間の2時間以上
米沢ヤクルト販売(株)小国店	販売員	1人	9:00～14:30

■保健カレンダー

■問合先 健康福祉課へ

月 日	内 容	受付時間	対象のお子さん(生まれた月)	場 所
4月15日(金)	3歳児健診	12:30～13:00	H19年8月、9月、10月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
4月22日(金)	1歳児健診	13:00～13:10	H22年4月	
	4カ月児健診	13:10～13:20	H22年12月	

農業者年金加入について

農業者年金は、農地を持っていない農業者や配偶者、後継者など家族従事者でも加入でき、65歳から生涯支給され、次のような特徴があります。

国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満のかたであれば誰でも加入できます。

保険料は、月額2万～6万7千円の間で1千円単位で加入者が自由に選択できます。

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となっており、所得税・住民税の節税になります。

認定農業者などの一定の要件を満たすかたには、保険料の国庫補助があります。

ぜひ加入についてご検討ください。

■問合先 農業委員会事務局へ

相談

年金相談

- 日 時 3月16日(水) 10:30～14:30
- 場 所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢事務所職員
- 問合先 町民課住民窓口担当へ

人権相談

- 日 時 3月23日(水) 10:00～12:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合先 町民課住民窓口担当へ

消費者相談

- 日 時 3月26日(土) 10:00～15:00
- 場 所 役場雇用相談室
- 内 容 多重債務に関する相談など
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込が必要です。
- 申込・問合先 町民課町民生活担当へ

多重債務無料相談会

- 日 時 3月17日(木) 10:00～17:00
- 場 所 山形財務事務所
- 申込み 3月10日(木)までに下記に申込んでください。
- 申込・問合先 東北財務局金融監督第三課 (☎022-266-5703) へ

伐採木を提供します

県が伐採した木を無償で提供します。ただし、なくなり次第終了となります。

- 対象者 自ら持ち帰れる個人
- 場 所 置賜総合支庁小国分所
- 提供開始日 3月14日(月)
- 提供時間 平日の9:00～16:00
(土日、祝日を除く)
- 応募方法 問合先に住所、お名前、電話番号を連絡してください。
- 問合先 置賜総合支庁西置賜河川砂防課維持調査担当 (☎88-8233) へ

温泉健康館ゆ～ゆ

温泉部門の会員券等払い戻しの終了について

温泉健康館ゆ～ゆの温泉部門は平成17年3月末をもって休止しております。これに伴う、温泉部門の会員券・回数券の払い戻しは、平成23年3月末で終了いたしますので、お持ちの方は下記にお問合せのうえ、払い戻しを行ってください。

■問合先 産業振興課商工観光室または温水プール (☎62-4248) へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) ☎62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室 ☎62-2264
- 国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
- 農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416
- 建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 会計室 ☎62-2406
- 建設管理室・上下水道室 ☎62-2431

森林セラピーアテンダント募集

平成18年4月の森林セラピー基地認定から5年が経過し、温身平の散策に訪れるかたは年々増えてきています。

森林セラピーに関する知識を学びながら、ブナの森温身平を中心としたセラピー基地で活動してみませんか。

■対象

森林セラピーに関心がある18歳以上のかたで、案内人組織である町森林セラピーアテンダントミーティングに加入し森林散策の案内や森林整備活動ができるかた。

■申込方法

産業振興課にお申込みください。申込書を準備しています。

■申込期限 3月23日(水)

■その他

案内人組織に加入すると、年会費(1,000円)が必要となります。

■申込・問合先

産業振興課商工観光室へ



平成23年度くりえいと工房再生品の提供について

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、循環型社会形成に資するため、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、期間を定めて展示及び提供を行っています。置賜在住のかたであればどなたでも応募できますので、是非くりえいと工房までお越しください。

- 提供品 自転車10台 家具類5点
(1回開催あたり、予定数)
- 応募方法 備え付けの申込用紙による
- 時 間 日曜祝祭日を除く
午前9時から午後4時まで
- 料 金 無料

《第1回 4・5月期》

展示期間 4月5日(火)～5月7日(土)
公開抽選 5月10日(火) 午前10時
引取期限 5月21日(土)

《第2回 6・7月期》

展示期間 6月2日(木)～7月2日(土)

公開抽選 7月5日(火) 午前10時

引取期限 7月16日(土)

《第3回 8・9月期》

展示期間 8月3日(火)～9月3日(土)

公開抽選 9月6日(火) 午前10時

引取期限 9月17日(土)

《第4回 10・11・12月期》

展示期間 10月13日(木)～12月3日(土)

公開抽選 12月6日(火) 午前10時

引取期限 12月17日(土)

■問合先

千代田クリーンセンター施設第2
係 (☎0238-57-4004) へ

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

小国町	貞末	実希	(晋作)
小国町	五十嵐	優梨亜	(明日香)
若山	舟山	来瞳	(光博)
岩井	沢原	莉澄	(裕介)
新屋敷	金	悠衣奈	(康之)

結婚おめでとございます。

(茨城)	小森	宏信
(五味)	小池	恵
(北)	小嶋	知里
(新潟)	河内	麻里

おくやみ申し上げます。

緑増	町	渡	邊	キノ	(98)
若山	小	関	昇	(77)	
若山	舟	山	義雄	(75)	
若山	舟	山	ひで子	(42)	
幸町	鈴	木	ナミエ	(90)	
小増	股	安	テ	(86)	
栄岡	仁	部	ろく	(98)	
増岡	原	科	和恵	(56)	
百子	沢	吉	英子	(80)	
田沢	渡	部	七郎	(81)	
貝少	本	間	瑞穂	(86)	
小国	色	摩	モヨ	(87)	
杉沢	横	山	新一	(89)	
東原	近	主	計	(77)	
岩井	加	藤	菊夫	(80)	
小国	塚	原	ヤス	(100)	
小坂	伊	藤	ノリ	(90)	
叶水	新	野	タミ	(73)	
幸町	飯	田	一	(82)	
伊佐	関		忠	(71)	
尻無	安	部	みよ	(93)	

人口のうごき

人口	男	4,409人(-6)
	女	4,651人(-5)
	計	9,060人(-11)

世帯数 3,245世帯(-1)

平成23年1月31日現在

伝えよう！ 広めよう！ おぐにの食文化

シリーズ①



材料

大根	2本	くるみ	100g
ニンジン	1本	砂糖	大さじ1
干しきのこ		しょうゆ	大さじ1
(しいたけ・ししたけ)		塩	大さじ1
	50g	米酢	大さじ3
油揚げ	小10枚	練りからし	大さじ1
打ち豆	100g		

作り方

- ① 大根1本、ニンジン1本を長さ4cm、幅1cmの薄切りにして、塩をからめ、2時間ほどおく。
- ② 干しきのこを水に戻し、水をよく切った後、砂糖、しょうゆであえる。
- ③ 油揚げは、湯通しして、細く切る。
- ④ 鍋に塩をひとつまみ入れて、打ち豆をゆでる。
- ⑤ 大根1本を粗くおろす。
- ⑥ くるみをすり、練りからし、酢、砂糖を入れ、各材料の水分をとり、混ぜ合わせる。



伝承者：石垣ちい子さん(田沢頭)

しめなますは、田沢頭独特の精進料理で、彼岸や法事、小正月に食べられていたものです。昔は、冠婚葬祭も集落のなかで行われ、その中で、様々な料理が受け継がれてきました。地域の伝承料理を次の世代に伝え、大切にしていきたいと思っています。

編集後記

表紙で紹介しているジャンプ競技の練習会。初めて体験するという子どもたちでしたが、物怖じせず、何度も挑戦。そして成功したときは、笑顔でハイタッチ。雪があり、スキー場があり、そして競技を教えられる人材がいるからこそできることなのだと改めて感じたところです。

あれだけ寒かった1月から一転、2月になってからは暖かい日が続く、春の訪れを感じさせるような日が続いていますが、町のいたるところに、まだまだたくさん雪が残っています。雪の処理をする際には、事故のないよう十分に注意して、安全な作業をお願いいたします。

(加藤)